



2016年8月5日  
エルゼビア・ジャパン株式会社

## エルゼビア、ロンドン開催のシンポジウムで研究成果を発表する Reaxys(R) PhD Prize ファイナリスト 10 名を決定

PhD Prize 受賞者は9月23日に発表

2016年8月5日 東京発 — 科学・技術・医学関連情報の製品およびサービスの世界有数のプロバイダーであるエルゼビアは、本日、本年5月に選出された45名の化学者の中から10名の [Reaxys PhD Prize ファイナリスト](#) が最終選考に残ったことを発表しました。ファイナリストは、2016年9月22日と23日にロンドンで New Scientist Live と同時開催される年次 Reaxys Prize シンポジウムにおいて研究成果を発表する予定です。

9月の口頭プレゼンテーションが、成長著しい若手化学者による最も革新的な研究を認め、表彰する国際的な賞である Reaxys PhD Prize の最終審査となります。Reaxys アドバイザリーボードのメンバーで構成される審査委員会によって3名の受賞者が選ばれ、9月23日のシンポジウムの夕食会の場で発表されます。

日本の大学からの2名の候補者を含む10名のファイナリストは以下のとおりです。(掲載順不同)

- 京都大学 大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 合成化学講座 有機金属化学分野  
村上研究室 増田 侑亮さん  
応募論文: "Light-Driven Carboxylation of o-Alkylphenyl Ketones with CO<sub>2</sub>" *Journal of the American Chemical Society*, 2015
- 東京大学大学院工学系研究科 化学生命工学専攻  
相田研究室 姜 志亨(カン・ジヒョン)さん  
応募論文: "A rational strategy for the realization of chain-growth supramolecular polymerization published" *Science*, 2015
- Nickolas Anderson from the Bart group, Purdue University - West Lafayette  
パデュー大学ウストラファイエット校 Bart 研究室 Nickolas Anderson さん
- Chuyang Cheng from the Stoddart group, Northwestern University  
ノースウエスタン大学 Stoddart 研究室 Chuyang Cheng さん
- Lauren Doyle from the Piers group, University of Calgary  
カルガリー大学 Piers 研究室 Lauren Doyle さん

- Pascal Ellerbrock from the Trauner group, Ludwig-Maximilian University of Munich  
ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン Trauner 研究室 Pascal Ellerbrock さん
- Sebastian Grundner from the Lercher group, Technical University of Munich  
ミュンヘン工科大学 Lercher 研究室 Sebastian Grundner さん
- Jamie Hicks from the Jones group, Monash University  
モナシュ大学 Jones 研究室 Jamie Hicks さん
- Jarad Mason from the Long group, University of California Berkeley  
カリフォルニア大学バークレー校 Long 研究室 Jarad Mason さん
- Alison Wendlandt from the Stahl group, University of Wisconsin - Madison  
ウイスコンシン大学マディソン校 Stahl 研究室 Alison Wendlandt さん

今年の Reaxys PhD Prize のファイナリスト 45 名全員がシンポジウムに招待されており、ポスターセッションで研究成果を発表する機会を与えられています。応募論文は、審査委員会によって独創性、革新性、適用性、重要性、厳密さなどを基準に審査されます。

2010 年の創設以来、Reaxys PhD Prize には世界中の約 650 の大学から 3000 件を超える論文が寄せられてきました。本賞の目的は、真に画期的な研究成果を生み出した才能ある若手化学者を正に評価することで化学の進歩を促すだけでなく、人脈を広げ、新たなアイデアを着想し、知識を共有する機会を与えることにあります。

Reaxys PhD Prize、今年の最終選考に残った 10 名のファイナリスト、およびシンポジウムについての詳しい情報は、下記のウェブページをご覧ください。(英語サイト)

[http://inspiringchemistry.reaxys.com/phdprize?utm\\_source=Press%20Release&utm\\_medium=referral&utm\\_campaign=10%20shortlisted%202016%20Reaxys%20PhD%20Prize](http://inspiringchemistry.reaxys.com/phdprize?utm_source=Press%20Release&utm_medium=referral&utm_campaign=10%20shortlisted%202016%20Reaxys%20PhD%20Prize)

# # #

#### [Reaxys について]

[Reaxys](#) は、構造/物性/反応データ/反応条件などの論文や特許の情報提供を通じて、化学の研究・開発を支援するデータベースです。早期創薬開発、教育、材料選定、および合成計画の支援を目的として設計されており、データのエクスポートやインハウスデータとの円滑な統合を実現するための機能も搭載されています。研究開発に必要とされているデータを提供する Reaxys は、化学者の生産性向上に貢献します。

詳しくは、こちらをご参照ください。[www.elsevier.com/reaxys](http://www.elsevier.com/reaxys)

Reaxys は RELX Intellectual Properties SA の商標であり、ライセンスに基づいて使用されます。

#### [エルゼビアについて]

[エルゼビア](#) は、科学・医療・技術関連情報の製品およびサービスの提供を専門とする世界有数の企業です。業務内容は、各分野の専門家の能力を最大に引出し、よりよい判断や最適なケアを提供し、人類の知的領域や進歩の限界を押し広げる画期的な世紀の大発見をサポートするなど、多岐に渡ります。エルゼビアはウェブを中心にした電子ソリューション([ScienceDirect](#)、[Scopus](#)、[Elsevier Research Intelligence](#)、[ClinicalKey](#) など)に加え、[The Lancet](#) や [Cell](#) などを含む 2,500 誌以上のジャーナルや代表的なレファレンスワーク(大型参考図

書)を含めた 35,000 点を超える書籍を刊行しています。エルゼビアは、さまざまな業界の専門家と企業のお客様に情報と分析サービスを提供する世界でもトップクラスの情報プロバイダーである [RELX Group](#) の傘下企業です。詳しくは以下のホームページをご参照ください。

[www.elsevier.com](http://www.elsevier.com) (英語サイト) / [www.elsevier.com/jp](http://www.elsevier.com/jp) (日本語サイト)

## 報道からのお問い合わせ(広報窓口)

### Elsevier (アジア太平洋担当)

コーポレートリレーションズ アジア太平洋地区担当 ディレクター Jason Chan (ジェイソン チャン)

Tel: +65 9177 8358 / [j.chan@elsevier.com](mailto:j.chan@elsevier.com)

### 本プレスリリースの日本国内におけるお問い合わせ:

エルゼビア・ジャパン株式会社

アカデミック・リレーションズ シニア・マネージャー Ludivine Allagnat (ルディービーヌ アラニヤ)

リサーチソリューションズ マーケティングマネージャー 駒村(コマムラ)

Tel: +81 3 (5561) 5034 / [jp.pr@elsevier.com](mailto:jp.pr@elsevier.com)